

令和3年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市大崎むつみの里
(2)施設概要	<p>①所在地 緑区大崎37-1</p> <p>②施設の設置目的 障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、障害者及び障害児の福祉の増進を図る。</p> <p>③施設の概要 事業指定年月 【第1事業所】平成19年4月 【第2事業所】平成18年10月 敷地面積 5,272.00㎡ 延床面積 4,355.96㎡ 構造 第1事業所:鉄筋コンクリート造 4階建 鉄筋コンクリート造 平屋建 第2事業所:鉄筋コンクリート造 平屋建</p> <p>事業内容 【第1事業所】生活介護事業(定員70人) 自立訓練(機能訓練)事業(定員10人) 自立訓練(生活訓練)事業(定員10人) 就労移行支援事業(定員15人) 就労継続支援事業B型(定員55人) 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援) 【第2事業所】児童発達支援事業(定員50人) 保育所等訪問支援事業 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援)</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度212,425千円、令和2年度226,268千円、令和3年度226,268千円</p>

<p>(5)施設の管理運営の内容</p>	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <p><生活介護事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数12,866人(前年度12,859人) ・平均利用者数52.9人(前年度52.9人) ・稼働率75.6%(前年度75.6%) <p><自立訓練(機能)事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数1,458人(前年度670人) ・平均利用者数6.1人(前年度2.8人) ・稼働率61.3%(前年度27.6%) <p><自立訓練(生活)事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数1,188人(前年度1,302人) ・平均利用者数5.0人(前年度5.4人) ・稼働率49.7%(前年度53.6%) <p><就労移行支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 581人(前年度164人) ・平均利用者数2.4人(前年度0.6人) ・稼働率15.9%(前年度4.5%) <p><就労継続支援事業B型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数9,334人(前年度9,580人) ・平均利用者数38.4人(前年度39.4人) ・稼働率69.8%(前年度71.7%) <p><児童発達支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数4,896人(前年度5,005人) ・平均利用者数21.1人(前年度21.4人) ・稼働率70.3%(前年度71.3%) <p><保育所等訪問支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 30人(前年度26人) <p><相談支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 285人(前年度304人) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練(年2回) ・むつみ祭 ・健康診断(就労事業のみ)等 <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物設備保守管理業務(日常管理業務、空調排気設備、消防設備点検、昇降機設備点検、その他の設備、防火対象物定期点検) ・清掃業務(床・カーペット清掃、硝子清掃、害虫駆除、樹木消毒等) ・自家用電気工作物保安管理業務(需要設備点検、発電設備点検、高圧盤清掃) ・施設警備業務 ・浴槽水質検査業務(レジオネラ菌検査) <p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p>																																	
<p>(6)収支状況</p>	<p>①収入</p> <table border="0"> <tr> <td>・指定管理料</td> <td>226,268千円</td> <td>(前年度226,268千円)</td> </tr> <tr> <td>・障害福祉サービス等事業収入</td> <td>311,240千円</td> <td>(前年度300,476千円)</td> </tr> <tr> <td>・就労支援事業収入</td> <td>4,050千円</td> <td>(前年度 4,013千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>21,899千円</td> <td>(前年度 68,539千円)</td> </tr> </table> <p>②支出</p> <table border="0"> <tr> <td>・人件費</td> <td>418,997千円</td> <td>(前年度410,171千円)</td> </tr> <tr> <td>・事務費</td> <td>11,663千円</td> <td>(前年度 12,022千円)</td> </tr> <tr> <td>・施設管理費</td> <td>68,124千円</td> <td>(前年度 98,113千円)</td> </tr> <tr> <td>・事業費</td> <td>16,348千円</td> <td>(前年度 15,987千円)</td> </tr> <tr> <td>・繰入金支出</td> <td>34,241千円</td> <td>(前年度 34,241千円)</td> </tr> <tr> <td>・就労支援事業支出</td> <td>4,050千円</td> <td>(前年度 4,013千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>10,034千円</td> <td>(前年度 4,077千円)</td> </tr> </table>	・指定管理料	226,268千円	(前年度226,268千円)	・障害福祉サービス等事業収入	311,240千円	(前年度300,476千円)	・就労支援事業収入	4,050千円	(前年度 4,013千円)	・その他	21,899千円	(前年度 68,539千円)	・人件費	418,997千円	(前年度410,171千円)	・事務費	11,663千円	(前年度 12,022千円)	・施設管理費	68,124千円	(前年度 98,113千円)	・事業費	16,348千円	(前年度 15,987千円)	・繰入金支出	34,241千円	(前年度 34,241千円)	・就労支援事業支出	4,050千円	(前年度 4,013千円)	・その他	10,034千円	(前年度 4,077千円)
・指定管理料	226,268千円	(前年度226,268千円)																																
・障害福祉サービス等事業収入	311,240千円	(前年度300,476千円)																																
・就労支援事業収入	4,050千円	(前年度 4,013千円)																																
・その他	21,899千円	(前年度 68,539千円)																																
・人件費	418,997千円	(前年度410,171千円)																																
・事務費	11,663千円	(前年度 12,022千円)																																
・施設管理費	68,124千円	(前年度 98,113千円)																																
・事業費	16,348千円	(前年度 15,987千円)																																
・繰入金支出	34,241千円	(前年度 34,241千円)																																
・就労支援事業支出	4,050千円	(前年度 4,013千円)																																
・その他	10,034千円	(前年度 4,077千円)																																

<p>(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<p>法人として「苦情解決に関する手引き」を整備し、フローチャートに沿った対応をしている。他に「みなさまの声」による投書の受付や年1回実施する「利用者アンケート」にて全利用者からの意見を伺う取組もしている。</p> <p>生活介護事業：事業所独自の利用者アンケートを11月と3月に実施した。利用者・ご家族のニーズの把握に努め、サービスの質や利用者の満足度の向上に繋がられるよう職員には職員会議等で周知し支援に繋がった。結果については、必要に応じて、個別での回答を行い、掲示等で利用者、ご家族へ周知した。</p> <p>自立訓練事業：機能訓練事業での送迎サービスを令和3年5月より開始した。生活訓練事業ではアンケート調査でスポーツ体験を増やして欲しいとの要望を受けスポーツ体験行事を年1回から2回に増やし、週間のプログラムにボッチャ等のスポーツレクを組み入れた。</p> <p>就労移行・就労継続支援B型支援事業：作業の種類を増やし、本人が集中できる作業を希望される意見があった。作業の種類に関しては令和3年度より除草や菓子梱包、リサイクル仕分けと3種類の作業を増やし、個々の利用状況に合った作業を提供した。</p> <p>児童発達支援事業：コロナ禍で家庭と学園の連携、保護者同士の連携について十分ではなかったというご意見をいただいた。懇談会の開催は参集ではなく、オンラインで開催した。コロナ禍において連携を深めていくために、実施できることを検討していきたい。</p>
<p>(8) その他</p>	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
・サービス向上のための具体的提案 ・利用率向上のための具体的提案	・コロナ禍ではあるが、地域共生の為に広報誌の発行や花いっぱい運動を継続するとともに、地域の福祉施設と連携を図るためにグリーンフェスティバルに参加し、施設を知ってもらう機会につなげた。
・経費の縮減をするための提案	・むつみの里として電力会社の見直しを行いコスト削減を図ることが出来た。 ・生活介護事業の送迎バスを職員による自主送迎に切り替え、大幅なコスト削減を図ることができた。
・職員の教育・研修の実施など資質向上の提案	・オンラインと参集を併用した研修を行い、研修参加者を増やすことができた。 ・新任職員研修の内容を見直し、障害者施設で働く基本的な姿勢や対応を学ぶことが出来た。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

自立訓練(機能訓練)事業では、新たな送迎サービスを行ったことにより、新規利用者の獲得につながった。また、生活介護事業では、職員による自主送迎を開始し利用者のニーズに沿った送迎を行った。しかし、送迎車を職員が乗務することにより、コストが削減した一方で、職員の業務量増加という課題が残った。
令和3年度のさいたま市の基準条例の改正に伴い、虐待防止マニュアルの改正を実施するなど虐待防止対策の強化を図った。
新型コロナウイルス感染症予防対策として、外部講師による職員研修を行い感染症に対する職員の意識を高めた。
また、多機能型事業所のメリットを生かして利用者の将来を見据えた事業の相互利用を促した。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局福祉部障害政策課)

総合評価 (B) ※A~D

生活介護事業では、利用者の障害特性を理解し、利用者の意向や状況等を踏まえ、個別支援プログラムを設定し、充実した支援を行った。送迎サービスを見直し、利用者や利用者家族の意向に合わせて検討し、対応した。

自立訓練事業では、利用者自身の意向を尊重した訓練プログラムを用意し、利用者の選択肢の幅を広げた支援を行った。コロナ禍ではあったが、感染予防対策を行ったうえで、商業施設の利用や買い物訓練等地域での活動体験を通して公共マナーやコミュニケーションスキルを実践で学び地域社会での自立に向けた支援を行った。

就労継続支援事業では生産活動を通じ、基本的態度の形成、職業人としての自覚の高揚が図られるよう支援を行った。

児童発達支援事業では、児童の発達状況に応じたグループを設置し、十分な感染予防対策を実施したうえで、適切な支援を行った。

定期点検等の保守業務や日常等における清掃活動を実施し、施設の維持管理に努めた。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。